

株主通信 第60期

2023年4月1日～2024年3月31日

新・中期経営計画「CHALLENGE 2026」始動

2024年度グループキックオフ



Contents

トップメッセージ	1
新・中期経営計画「CHALLENGE 2026」	3
J B C Cグループで働く社員に聞く	7
JBCC Group Information	9

JBCC
holdings

JBCCホールディングス株式会社
証券コード:9889 (東証プライム市場 情報・通信業)

トップメッセージ

株主の皆様へ

新中期経営計画のテーマは、チャレンジです。 新たなテクノロジーへの挑戦と人財投資を強化し、 継続的な成長を実現していきます。

日頃より当社グループをご支援いただき、ありがとうございます。

2024年3月期（2023年4月1日～2024年3月31日）の業績は、注力事業であるクラウド、セキュリティのストックビジネスが大きく伸長し、売上高は65,194百万円（前期比12.1%増）、営業利益は4,422百万円（前期比17.5%増）の増収増益となりました。営業利益については、2期連続で過去最高益を更新しています。

この3月で終了した3カ年の中期経営計画「HARMONIZE

2023」では、ハードウェアの販売から、継続的に収益を蓄積できるストック型のビジネスモデルへと事業構造を変革してまいりました。クラウド技術の進化や多様化する働き方に合わせ、お客様が必要とするものをいち早くサービス化し提供してきたことで、クラウド、セキュリティはともに市場成長率を超えて伸長し、今後も継続して増収増益を達成できる土台をつくることができました。

好調な業績と事業構造変革の進捗を鑑み、2024年3月期の期末配当は予定通り54円（年間94円）とし、2025

年3月期は年間106円を予想しています。

4月から新たな中期経営計画「CHALLENGE 2026」をスタートしました。注力事業をクラウド、セキュリティ、超高速開発の3つに集約して事業構造変革を加速すると同時に、急速に進化するAI技術への取り組みや、IT業界全体の喫緊の課題でもある人財の育成と確保に向け、人財投資も積極的に進めてまいります。

「CHALLENGE 2026」のスタートに当たり、グループ全体のおよそ半数にあたる1,000名の社員を一堂に集め、目指す方向性や挑戦への決意を共有しました(⇒ 表紙写真)。これから3カ年の計画の中で、ここに新たなスキルや多様なバックグラウンドを持つ人たちが加わり、グループが一丸となって“挑戦し続ける”ことが、私たちの成長につながることを確信しています。

株主の皆様におかれましては、今後とも一層のご支援を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。

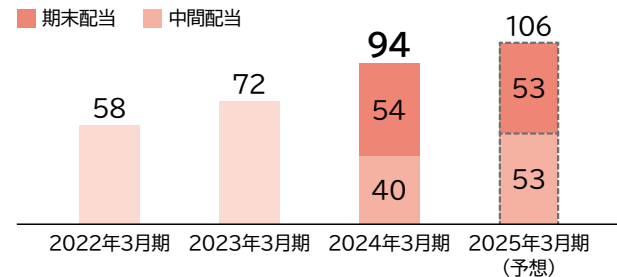
2024年3月期業績

(前期比)

売上高	65,194百万円 (12.1%増)
営業利益	4,422百万円 (17.5%増)
経常利益	4,549百万円 (18.2%増)
親会社株主に帰属する当期純利益	3,187百万円 (19.0%増)

1株当たり配当金の推移

(単位：円)



代表取締役社長

東上 征司

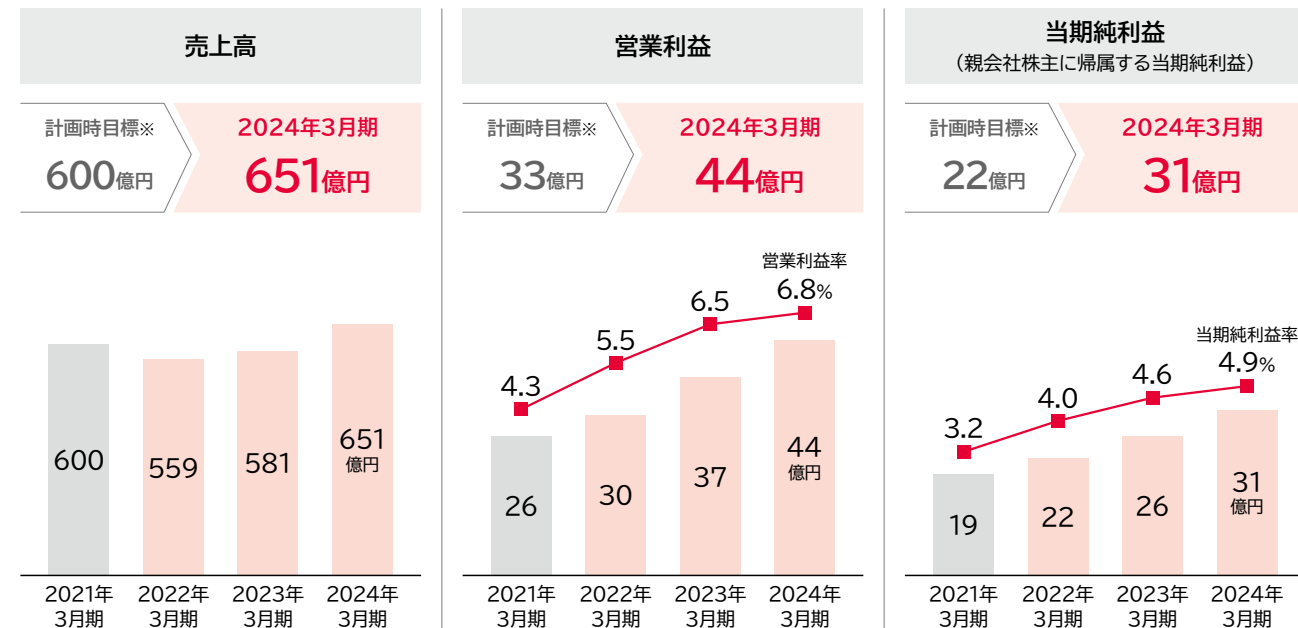
SEIJI HIGASHIUE

新・中期経営計画「CHALLENGE 2026」

当社グループは、2025年3月期から2027年3月期までの3カ年を対象とする、新たな中期経営計画「CHALLENGE 2026」を策定しました。クラウド、セキュリティ、超高速開発を中心に、さらなる事業構造の変革を推進し、継続的な成長と高い収益性の実現を目指します。

前・中期経営計画の振り返り（2022年3月期～2024年3月期）

前・中期経営計画では、企業のDXを実現するトータルITサービス「HARMONIZE」を発表し、高付加価値の提供、クラウドおよびセキュリティを中心としたストックビジネスへと事業構造の変革を推し進め、継続的な増収増益を達成しました。



※2021年5月の中期経営計画発表時点の数値目標

新・中期経営計画「CHALLENGE 2026」

注力事業の進化・深化、経営基盤の強化・高度化に挑戦

売上高 **720**億円以上 営業利益率 **10**%以上 ROE **17**%以上

お客様の成功
社会の発展
IT業界の変革に貢献する
価値創造型企業を
目指して

新・中期経営計画「CHALLENGE 2026」(2025年3月期～2027年3月期)

新たに策定した中期経営計画のテーマは“**チャレンジ**”です。注力事業を**クラウド**、**セキュリティ**、**超高速開発**の3つに洗練・集約し、それぞれの事業をさらに進化・深化することで事業構造変革を加速し、継続的な成長と高い収益性の実現を目指します。さらに、IT業界全体の喫緊の課題でもある人財の育成・確保への取り組みや、**データ&AI活用**等の新たなビジネス領域の拡大に向けて経営資源を投下し、強固な経営基盤の構築と企業価値の向上を目指します。

CHALLENGE 2026 4つの基本方針

<p>継続的成長</p> <p>売上高 720億円以上</p> <ul style="list-style-type: none"> クラウド、セキュリティを中心に、ストックビジネスの比率を40%(2024年3月期)から60%に拡大 事業構造変革をさらに加速 	<p>収益性の向上</p> <p>営業利益率 10%以上</p> <ul style="list-style-type: none"> 超高速開発においてマイクロアセットサービス(再利用性の高い開発部品)の適用を推進 ストックビジネスにおいて高付加価値サービスを提供
<p>経営基盤の強化・高度化</p> <ul style="list-style-type: none"> 人財への投資、ガバナンスの強化、DXの加速、リスクマネジメント体制を高度化 強固な経営基盤を構築し、経営品質を向上 	<p>株主還元方針</p> <p>配当性向 45%以上</p> <ul style="list-style-type: none"> 利益率と資産効率を向上し、健全な財務基盤を維持 長期的な株主還元を実現

注力事業

継続的成長と収益性の向上を目指して

市場において当社グループの強みをより発揮できる注力領域を明確化しました。JBC Cグループは、国内の中堅企業様を対象に注力事業であるクラウド、セキュリティ、超高速開発に加え、データ&AI活用等の新たな付加価値の創出にチャレンジし、お客様のDXを実現します。

強みをより発揮できる領域を明確化	<p>領域 大手SIerが注力していない国内中堅規模のお客様企業</p> <p>強み 物販中心/小規模SIerが満たせないサービスレベルに応える</p>
お客様が抱える課題を理解	<ul style="list-style-type: none"> ● IT人材/DX人材の不足 ● 高度化・複雑化するサイバー攻撃への対応 ● クラウドコストの管理 ● 柔軟で市場競争力を持つ基幹システムの構築 ● データ&AI活用の推進 ● 部分最適にとどまるバンダーからの提案

CHALLENGE 2026 3つの注力事業

クラウド、セキュリティのストックビジネスの比率を高め継続成長を実現し、超高速開発の推進により収益性を向上していきます。



人財戦略

事業戦略を支え、企業文化をつくる

当社グループの最大の資産は“人”です。技術やスキルを磨き、常にチャレンジし続ける人財を育成するとともに、多様性や人財確保への新たな取り組みを推進します。


人財戦略の重点施策

処遇・制度	<ul style="list-style-type: none"> ● 事業戦略を実現するための人事制度改革（高度営業専門職・高度技術専門職の導入） ● Style Jの推進、多様な働き方の実現と能力を最大限に発揮できる職場環境の整備・変革
採用	<ul style="list-style-type: none"> ● 高度で専門的なスキルを有したキャリア人財の採用強化 ● 採用における女性社員比率目標50%の実現
育成	<ul style="list-style-type: none"> ● 専門性の強化に特化した人財育成計画と実行 ● 人財育成・キャリア形成のための新たなフレームワークの構築 ⇒ JBCCアカデミー
多様性	<ul style="list-style-type: none"> ● 様々な個性や能力、知見を備えた多様性を尊重・推進する人財ポートフォリオの構築 ● 女性管理職の登用促進と候補者の育成、各世代層のパイプラインの形成

人財を育成し、社会全体のDX化を促進「JBCCアカデミー」

JBCCアカデミーは、JBCCグループのビジョンである「創り出そう、躍動する社会を。挑戦しよう、技術とともに。」の考えの下、新たにスタートする取り組みです。クラウド、セキュリティ、システム開発の実践的なノウハウや、AI等の先進技術について、社外の受講希望者に対しても広く門戸を開き^(*)提供します。この取り組みを通じて、若者を中心とした就労の支援や、日本社会におけるDX人財不足の解消に貢献したいと考えています。^{*}社外向けには10月以降を予定

Voice



Technical Officer (技術専門役員)
おかもと のぶひろ
JBCC株式会社 **岡元 信弘** さん

「高度技術専門職制度」でAI分野の専門役員に就任しました。AI技術は日々進化しています。社内外への情報発信に加え、当社グループならではの新たなAIビジネスの創出にも挑戦していきます。

新・中期経営計画
「CHALLENGE 2026」
詳細は下記URLをご参照ください。
<https://www.jbcchd.co.jp/ir/library/presentation/>



人財育成への取り組み



自分らしさを大切に、働きがいと働きやすさを両立

JBCCグループでは、一人ひとりが自分らしく働き続けるための様々な制度により、能力を最大限に発揮できる職場環境の整備・変革に取り組み、女性の活躍を推進しています。グループで働く、若手、中堅、管理職の女性社員に話を伺いました。



わかだ ゆうか
若田 裕花 さん
JBCC株式会社
超高速開発センター

2021年入社。文系出身からプログラマーへ。面倒見のいい先輩のもと、ぐんぐん成長中。

JBCCグループには、Style Jという働き方の「制度がある」だけでなく、「制度が使える」環境が整っています。入社前は、上に立つのは男性社員というイメージがありましたが、男性と変わらず活躍する女性のキャリアモデルがしっかり確立されていることが嬉しいです。

私はプログラマーをまとめる開発リーダーに挑戦したいと考えています。一緒に開発を行うプログラマーが無駄なく、ミスなく開発作業に取り組めるようサポートすることが目標です。そして将来的には、システムエンジニア（以下、SE）として設計に携われたらと思います。よりお客様に近い立場で、全幅の信頼を置かれる人物になれば嬉しいです。とはいえ、将来的に結婚や出産を経験するかもしれません。そのときは会社の制度をフルに活用しながら、自分が無理なく頑張れるライフワークバランスを探っていきたいです。



はやかわ まい
早川 真衣 さん
JBCC株式会社
SIビジネス推進

2012年入社。子ども2人を育てながら、プロジェクトマネージャーとしても奮闘。

私には子どもが2人います。小学生と保育園生ということで、仕事と育児に追われる毎日です。大変なのは間違いないですが、リモートワークが可能なことや子どもの急な体調不良の際に時間単位で有給取得（時間休）が取れる点など制度面がしっかり整っているのが、どうにか両立できているのかなと感じます。

キャリアという点でも安心感が大きいです。出産・育児を実際に二度経験しましたが、希望通りの仕事を継続させてもらっています。将来設計を持っている社員に対して、できる限り寄り添ってくれる風土もあり、例えば営業として入社したけれども、数年後にSEにキャリアチェンジしたくなるケースもある。逆にSEから営業や人事に挑戦してみたいというケースもあります。会社が社員の挑戦を後押ししてくれるのを感じます。

JBCCグループは、「ママになる」こと、「ママとして働く」ことに対して、理解のある会社だと思います。私が1人目を出産した17年前もそうでした。気遣ってくれる上司が多く、子どもの病気やイベントの際も、フレキシブルに対応いただいていた印象です。テレワークなんて言葉もない時代に、実家で仕事をさせてもらいました。こうした会社の風土がなければ、3回も出産・復帰できなかったと思います。自身のキャリアプランに合わせた職種・業務内容の選択も可能です。キャリア重視の人もいれば、子育てや家庭重視の人もいます。それぞれに合った働き方ができます。しかも、家庭重視からバリバリと働くキャリア重視の選択肢もあり、途中で方向転換することもできる。もちろん、その逆も然りです。ライフステージの中で都度選べる柔軟性が魅力的かと思います。



さかした ともみ
坂下 友美 さん
JBCC株式会社
超高速開発センター

2003年入社。三度の出産を経て、今ではプロジェクト担当部長に。

JBCCグループ情報発信

当社の魅力を8つのポイントで紹介する動画を制作しました

より多くの方に当社を知っていただく、認知向上を目指した活動に取り組んでいます



キャスターの唐橋ユミさんが、JBCCグループの本社である八重洲オフィスから、JBCCグループの魅力を8つのポイントで紹介する動画を制作しました。社員自らがオフィスを案内しながら、働き方や注力する事業、“すごい”と思うグループの特長を語っています。動画の最後には、唐橋さんが出演するテレビ番組「サンデーモーニング」でもおなじみのフリップで、JBCCグループを表現していただきました。当動画は、東京駅八重洲地下街のサイネージにも広告を掲出しています。ぜひご覧ください。


 当社のYouTube
 チャンネルで
 ご覧いただけます

<https://www.youtube.com/watch?v=HaVq2QLzMG4>



東京駅八重洲地下街「ヤエチカ」

株主様とのコミュニケーション

八重洲オフィス見学会のご案内

昨年に続き、株主の皆様向けに八重洲オフィス見学会を実施します。社員がいきいきと働くオフィスをご覧いただきながら、グループの事業や新たな取り組みをご紹介します。

ご希望の方は下記Webサイトより、お申込みください。

- 日 時：2024年9月予定
*お申込みは7月1日(月)～となります。
- 場 所：JBCCグループ八重洲オフィス
東京都中央区八重洲二丁目2番1号
東京ミッドタウン八重洲 八重洲セントラルタワー13階
- 参 加 費：無料(オフィスまでの交通費は、各自ご負担ください)
- 募集人数：20名
(お申込み多数の場合は、抽選になります。株主様ご本人のみとさせていただきます。)



昨年の見学会の様子



お申込み・詳細は下記URLを参照ください。
<https://www.jbccd.co.jp/yaesu2024/>



JBCCグループのサステナビリティ

CO₂削減に向けた、環境への取り組み

JBCCグループは、2023年10月より、本社移転(東京八重洲)に伴い、グリーン電力を導入しました。再生可能エネルギーで発電されたグリーン電力を使用することで、CO₂削減に寄与しています。

今後も、事業を通じた活動に加え、カーボンオフセットPCなど、環境への負荷を軽減するための活動を継続していきます。







会社概要 (2024年3月31日現在)

社名	JBCCホールディングス株式会社 (JBCC Holdings Inc.)
本社所在地	〒104-0028 東京都中央区八重洲二丁目2番1号 東京ミッドタウン八重洲 八重洲セントラルタワー13階
設立年月日	1964年4月1日
資本金	47億13百万円
グループ社員数	1,953名 (有期社員を含む連結ベース)
ホームページ	https://www.jbcchd.co.jp/ir/

株主メモ

事業年度	4月1日～翌年3月31日
期末配当金 受領株主確定日	3月31日
中間配当金 受領株主確定日	9月30日
定時株主総会	毎年6月に開催
株主名簿管理人 特別口座 口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 東京都府中市日鋼町1-1 電話 0120-232-711(通話料無料) 電話 042-204-0303(通話料有料) 受付時間 9:00~17:00 (土・日・祝日等を除く) 郵送先 〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
上場証券取引所	東京証券取引所
公告掲載URL	https://www.jbcchd.co.jp/ (ただし、電子公告によることができない 事故、その他のやむを得ない事由が生じた 時には、日本経済新聞に公告いたします。)

SNS

	X (旧: Twitter) https://x.com/jbcchd 社長X (旧: Twitter) https://x.com/higashiuejbcc1
	Facebook https://www.facebook.com/jbcchd
	YouTube https://www.youtube.com/jbcchd
	note https://note.jbcchd.co.jp/



株主様Webアンケートご協力をお願い

今後の経営やIR活動に反映させていただくための「株主様Webアンケート」を実施いたします。当社ホームページよりご回答ください。回答いただきました方の中より、抽選で200名様にAmazonギフトカードEメールタイプ(1,000円分)を進呈します。

※お寄せいただいた情報は、当アンケート以外の目的には使用いたしません。

回答期限 2024年7月19日(金)まで



<https://www.jbcchd.co.jp/ir2024/>

JBCC group

当社では、認知の拡大とさらなる成長を目指し、2024年4月1日より、グループ名称を変更することになりました。新しいグループ名称は「JBCCグループ」(ジェイビーシーシーグループ)です。また、これに伴い、企業グループロゴを変更いたしました。新しく採用した赤はこれまでよりも明るく、躍動感と新しい未来に挑戦する企業姿勢を表しています。

お知らせ

株券電子化後、配当金の口座振込のご指定は配当金振込指定書を各口座管理機関(証券会社など)を経由してお届けいただくこととなりました。振込指定の詳細なお手続きにつきましては、お取り引きのある口座管理機関にお問い合わせください。

JBCCホールディングス株式会社

決算などの財務情報に関するご質問は
e-mail: ir@jbcc.co.jp

